

# 平成26年度 第5回政策推進会議報告

日時 6月2日 9時30分～10時40分

場所 4-1会議室

出席者 19人

## 1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 賛否が割れる可能性があるものは、子ども・子育て支援新制度に係る条例だろう。議論となる部分はだいたい想定できるので、それに対して尼崎市はどういう考え方で対応するのか、全ての会派に理解していただけるよう丁寧な説明をお願いしたい。

尼崎市JR塚口駅東地区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例については反対意見が出そうか。

今のところそのような動きは無い。都市計画決定も終わっているので、条例について特に反対意見は出ていない。都市計画審議会では、今回の条例には関係ないが、市バスの停車位置や学校の校区、駅のエレベーター、道路などについて指摘があった。

(市長) 尼崎市市税条例の一部を改正する条例について、改正内容の大半が国の法改正を受けたものだが、農耕作業に使用される小型特殊自動車を課税免除にするという項目は市独自の内容だ。元々、原動機付自転車と同じ税率だったが、今回の改正で原動機付自転車の税率が引き上げられることになった。尼崎市では農政を産業部門に移してしっかり後押しをしていくという政策をとっており、また、農耕作業に使用される小型特殊自動車は対象台数が少ないこともあり、原動機付自転車とは違う位置づけにした。尼崎市独自の判断を入れた税制改正であるので、きっちり市としての姿勢を伝えていきたい。

農政課にPRするよう指示している。

## 2 尼崎市公開事業たな卸しの実施について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 市政課題研修に位置づけているので、自分の所属が対象外だからといって参加しないのではなく、多くの職員に参加してもらいたい。どの事業にも共通することだが、市民目線で見るときにこういうことが伝わっていないのか、こういう視点での問いにきっちり答えないといけないんだ、といった気づきがたくさんあり非常に勉強になる。これまでの事業たな卸しで得られた視点やノウハウを生かして、今後施策評価を行っていくので、是非参加してもらいたい。

### 3 子ども・子育て支援新制度に係る尼崎市の各種施設等の認可基準及び給付の対象施設等としての確認基準のあり方について（最終答申）

### 4 子ども・子育て支援新制度に係る尼崎市の各種施設等の認可基準及び給付の対象施設等としての確認基準（素案）に対する市民意見公募手続の結果について

3, 4 併せて、こども青少年局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）学校によって児童ホームの待機状況にばらつきがあり、待機状況が厳しくなっている学校については踏み込んで対応を考えていかなければならない。現状ルールでは、3年連続待機になれば整備に入ることとしているが、3年待ってからでは難しい。これまでの実際の動きを再度分析し、ニーズ調査の結果も掛け合わせて現場で議論していただき、具体的な提案をお願いしたい。

一方で、尼崎市では、子どもの数は初年度の平成27年度にピークを迎える見込みで、これから子どもが右肩上がりでは増えないという想定の中で、ハード整備をどんどん進めるのは難しい。どうすれば今あるものを生かしながら目指す姿に近づけていけるのか、学校ごとに個別に議論しなければならない。

## 5 その他

- ・企画財政局長から、総合計画キャラバンについて説明。
- ・資産統括局長から、G I 尼崎センブルカップについて説明。
- ・市民協働局長から、尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会について説明。
- ・市民協働局長から、尼崎市規格葬儀について説明。
- ・経済環境局企画管理課長から、エコあまフェスタ2014について説明。

以 上